



本校教育目標：【自主】自ら進んで学ぶ生徒 【寛容】明瞭で思いやりのある生徒 【挑戦】健康でたくましい生徒  
 〈重点目標〉自ら考え、判断し、目標に向かって実践する生徒 ～夢の実現～

# 原町三中だより

令和4年7月15日（金）

第15号

発行責任者

校長 志賀 嘉津美

電話 22-3802

## 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

本市小・中学校においては、児童生徒等の感染が拡大傾向にあることから7月13日（水）～20日（水）の期間、『学校の新しい生活様式』を踏まえた本市小中学校の行動基準」をレベル1（学校における感染の可能性が低い状況）から**レベル2（学校において当面の間注意を要する状況）**に引き上げて、学校の教育活動を継続しています。

オミクロン株の特性上、感染力の強さからクラスター発生の危険性が高い状況です。今後も「三密を避ける」、「マスクを適切に着用する」、「消毒を徹底する」等の日常的な感染対策や健康観察の確実な実施等、基本的な感染症対策の徹底をいたします。1学期も残りわずかですが、吹奏楽コンクール相双支部大会や福島県中体連バドミントン競技が行われます。夏季休業中の部活動についても十分に感染症対策を行った上で実施いたします。

**3学年 介護体験教室** 3年生の総合的な学習の時間では、高齢者や体に障がいを持つ方々が安心して過ごせる社会の実現に向け、自ら参画しようとする態度を育てることを目的として授業を進めています。

7月12日（火）は、南相馬市生涯学習まちづく出前講座としてデイサービスセンター・在宅介護支援センターしゃりん梅の方を講師としてお招きし、疑似体験を行いました。アイマスクをつけた人に介助者役の生徒が無言で近づいて、無言で起き上がらせてみる、これだけでも目の不自由な方が介助される際にどれだけ不安な気持ちになるかを実感することができました。また、車椅子を利用者の目線は、思いのほか低いためとても不安になってしまうそうです。『曲がります』、『前に〇〇があります』と声をかけながらゆっくりと車椅子を押してあげることで寄り添った介助ができる。』とアドバイスをいただき実践しました。5月に行った高齢者疑似体験と今回の経験を生かして、9月の福祉施設体験に臨んでほしいと思います。



**少年の主張 南相馬市大会** 7月14日（木）に標記大会が開催され、市内6つの中学校から代表生徒12名が出場しました。本校からは杉陽向さん（3年）、高玉咲葵さん（2年）が出場し、意見発表を行いました。

杉さんは、ロシアとウクライナの戦争により、両国で大勢の人々が尊い命を失っている現実を通して、正しい情報をもとに自分の意見や考えを持ち、議論を繰り返していくことの大切さについて述べました。高玉さんは、SDGsの目標の一つである「ジェンダー平等を実現しよう」に着目し、男女平等を実現し、個々の持つ能力を伸ばし可能性を広げていくこと、自分らしく生きていくことの素晴らしさについて発表をしました。結果は、杉さんが最優秀賞（県大会推薦）、高玉さんは優秀賞を獲得しました。二人のこれまでの努力に心から賞賛し、拍手を送ります。



**同窓会第1回役員会** 7月14日（木）本校にて、同窓会第1回役員会が開催されました。今回は令和3年度の振り返りに加え、本年度の活動計画や総会の持ち方等について協議が行われました。

同窓会の皆様には、学校運営や諸行事・部活動等の支援に多大なご協力をいただいております。同窓生及び太田・大甕地区の皆様には「学校の応援団」として常に温かく見守っていただいていることに感謝申し上げます。学校でも同窓会組織の目的と意義、そして諸先輩方の母校に対する思いを生徒に伝えていきたいと思っております。

